



2020年4月3日

各 位

会 社 名 日本農薬株式会社
代表者名 代表取締役社長 友井 洋介
(コード：4997、 東証第1部)
問合せ先 管理本部総務・法務部長 永井 統尋
(TEL. 03-6361-1400)

スマートフォン用アプリケーション「レイミーのAI病虫害雑草診断（水稻版）」の 配信サービスを開始しました

日本の農業の現場では担い手の減少・高齢化の進行等により労働力不足が深刻な課題となっております。こうした課題に対してAIやIoT等の先端技術を活用して解決する「スマート農業」が効果的な取り組みとして期待されています。このような環境の中、日本農薬株式会社はスマート農業を通じて生産者の利便性を向上させるべくソリューションの開発を進めてまいりました。今回、農作物や圃場に発生する病虫害や雑草の防除に適切な農薬情報を検索する際に便利なツールとして、スマートフォン用アプリケーション「レイミーのAI病虫害雑草診断（水稻版）」の配信サービスを開始しましたので、お知らせいたします。

また、広く世の中にスマート農業を普及させるには、価値観を同じくする農薬メーカーが連携して取り組む事が重要だと考えております。この理念に日産化学株式会社、日本曹達株式会社、三井化学アグロ株式会社の三社からご賛同いただき、国内におけるスマート農業の速やかな確立・普及を図ることを目的に広く連携することにいたしました。まずは今回リリースする「レイミーのAI病虫害雑草診断（水稻版）」上で4社の保有する農薬情報を提供致します。今後も4社協働して生産者や消費者にスマート農業を通じた新たなソリューションやサービスを提供し、新たなビジネスモデルの創出につなげて参ります。

【1】 サービスの概要

「レイミーのAI病虫害雑草診断アプリ」は、(iOS、Android 対応) カメラで撮影した作物や田畑に発生する病虫害や雑草の画像に対してAI (NTT データ CCS 社と共同で開発) による診断を行います。営農者が同定した病虫害雑草についてはその防除に適切な農薬を検索し、詳細な情報にアクセスする事ができます。本アプリは AppStore または Googleplay を通じて無料でダウンロードすることができます (通信料はお客様のご負担となります)。

【2】 機能の詳細

<AI 病害虫雑草診断機能>

作物に発生した病気や害虫、圃場に発生した雑草などをスマートフォンで撮影（またはギャラリーから選択）し、「AI 診断」をタップすると、それがどのような病害虫・雑草か診断されます。診断結果はAIの自信度が高い順に表示されます。AIの診断結果と共に、撮影物の識別に役立つ病害虫雑草のミニ図鑑が表示されます。

<防除薬剤提案機能>

診断結果にもとづき、防除に有効な薬剤の一覧を表示します。薬剤を選択すると詳細情報を確認できます。選択した薬剤をお気に入り登録して保存しておくこともできます。

<カルテ式診断機能>

撮影した写真と病害虫・雑草ミニ図鑑の写真を比較しながら、自分で撮影物を診断する「カルテ式診断」機能もあります。

<診断結果保存機能>

診断結果は履歴として一定期間保存されますので、後でまとめて確認できます。写真を撮った場所と診断を行った場所をマップ上に表示することもできます。

<天気予報といもち病発生予測機能>

現在地の天気予報の確認と、気象状況からいもち病の発生を予測する機能があります。

なお、本アプリは生産者の皆様から本アプリに関するご意見をいただき今後の改善に活かすための試行版と位置付けております。今後は順次機能を追加するとともに、AI診断が可能な作物を拡大させていく予定です。

詳しくは本アプリに関するサイトをご確認ください。

サイト : <https://www.nichino.co.jp/products/aiapp/index.html>



以上

新登場!

レイミーがAI診断するよ

害虫・病害・雑草

稲の異変!?

写真を撮るだけ

水稲用

園芸作物へも
拡大準備中!



スマートフォン用アプリ

レイミーのAI病害虫雑草診断

レイミーのAI病害虫雑草診断は、農作物に被害を及ぼす病害虫や雑草を写真からAIが診断し、有効な薬剤情報を提供する、スマートフォン用の防除支援ツールです。

病害虫・雑草
を撮影

診断結果
有効薬剤
がわかる!

スマホでいつでも、写真からAI診断、有効薬剤をご紹介



いもち病
発生予測
機能付き!

※画面は開発中のものため実際と異なる場合があります

無料ダウンロードはこちら



利用時の通信料はお客様のご負担となります。

または日本農業ホームページから
日本農業 検索

App Store からダウンロード

Google Play で手に入れよう

■本アプリケーションで使用されているAI診断学習モデルは(株)NTTデータCCSと日本農業(株)の共同開発です。

■本システムは農林水産省の農業界と経済界の連携による生産性向上モデル農業確立実証事業「防除支援システム研究会(H30~R1)」の成果を社会実装したものです。

開発



日本農業株式会社

NTTdata

株式会社NTTデータCCS

参加



日産化学株式会社



日本曹達株式会社



三井化学アグロ株式会社



スマートフォン用アプリ 『レイミーのAI病害虫雑草診断』の使い方

診断する



1 診断したい対象が当てはまるカテゴリーを「病害・食害」「害虫」「雑草」の3つから選んでください



2 診断したい対象の写真を撮り、「AI診断」をタップしてください
※端末に保存されている写真から選ぶこともできます

ポイント
対象物が中央に大きく表示されるように写真を拡大してください

診断結果が表示されます



3 ここから写真を撮った場所と、診断した場所をマップ上に表示できます
診断された病害虫雑草の情報が写真付きで表示されるので、撮影対象と見比べて、それが何かを特定します

この%はAIによる診断に対する自信度



4 特定した病害虫雑草に有効な薬剤が一覧表示されます
薬剤をタップすると、さらに詳しい情報を確認できます

メーカーのホームページへ



アプリホーム画面

天気予報・いもち病の発生予測を見る

スマートフォンの位置情報から現在地の天気予報や、いもち病の発生予測を見ることができます

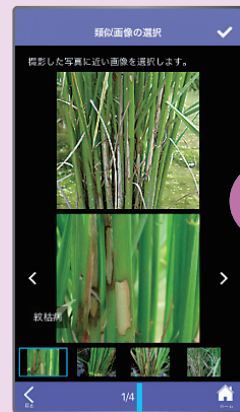
お気に入り薬剤を見る
診断後「お気に入り」に設定した薬剤を見ることができます

履歴を見る
診断結果の履歴が表示されます

カルテ式診断



1 診断したい対象の写真を撮り、「カルテ式診断」をタップしてください
※端末に保存されている写真から選ぶこともできます



2 病害虫なら葉や茎などの発生部位、雑草なら葉の形を選んでください

3 上の自分で撮った写真と、下に表示されるアプリに登録されている写真を比較しながら、自分でも診断できます

※画面は開発中のもののため実際と異なる場合があります

上手に診断するための写真撮影のポイント

■診断対象は画面中央部で、診断対象外の病害虫雑草ができるだけ映り込まないように撮影してください。■水面に映る太陽や空の反射等で診断対象が隠れないように注意してください。■診断がうまくいかない場合にはアングルを変えて撮影してみてください。■本やパソコン画面等を撮影してもうまく診断できない場合があります。

アプリ使用上の注意事項

■似ている病害虫雑草間で誤診断する場合があります。■本アプリはあくまで防除の支援のためのツールであり、最終的な診断と農薬使用に関する責任はご利用者様となります。■電波状況によって診断に適さない場合がありますので、撮影後に電波良好な環境で診断してください。■その他アプリに関する利用規約に関してはアプリ内に表示される利用規約をご確認ください。



日本農業株式会社は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています



東京都中央区京橋1丁目19番8号 [ホームページ](https://www.nichino.co.jp/) https://www.nichino.co.jp/

2020年3月作成版 (SPA) FM12003S